

平成 17 年度採用職員【司書】図書館奉仕係勤務

■ 現在の業務について

土浦市立図書館は、昨年 11 月に新図書館が開館して以降、市の職員の担当業務と、委託業者の担当業務に分けて運営しています。窓口・利用者対応や配架作業は主に委託業者が行い、市の職員は、資料の収集・保存・活用やレファレンス等、司書としての専門業務を担当しています。

私の担当業務は、レファレンス、購入図書を選書の他、図書館利用に障害のある方へのサービスの提供や、図書修理やおはなし会等にご協力いただくボランティアさんへの指導や調整、また、イベントの企画や運営等を行っています。

図書館の仕事というと、市民と関らない、本と向き合う業務をイメージされることが多いですが、人と本（図書館資料）とをつなぐ仕事が司書の業務の中心であり、業務を遂行する上で最も重要なのは、コミュニケーション能力だと感じます。

■ 特にやりがいを感じること

3 階相談（レファレンス）カウンターには、毎日多くの方から、多種多様な相談が寄せられます。すぐに利用者の希望の本を提供できることもあれば、多くの資料を調査し、数日の時間をかけてじっくり取り組む必要のある内容もあります。効果的なレファレンスインタビューを経て、的確なレファレンスツールを利用し、短時間で利用者の要望に沿う資料を提供できた時には、スキルが向上したかな、と感じられます。また、時間をかけて丁寧に取り組んだレファレンスでは、利用者の方から感謝の言葉をいただくこともあり、達成感と共に、利用者の役に立てた、という喜びを感じることもあります。

■ 一言メッセージ

新図書館は、面積、蔵書数ともに県内最大級の規模となり、ICTの導入を始めとした施設整備や新規サービスの展開などにより、県内外から多くの関心が集まっています。大変なこともありますが、様々な業務にやりがいを持って取り組めることと思います。より魅力のある図書館を目指して、ぜひ一緒に働いてみませんか。